



エコバランスで事業全体の環境負荷を把握し、長期目標や行動計画の設定に活用しています。

リコーグループは、環境影響の大きい工程から効果的に環境負荷を削減するために、「エコバランス*1」によって事業活動全体および工程別の環境負荷を把握しています。エコバランスは、「環境経営情報システム*2」で収集したデータをもとに、人間の健康への影響、資源の枯渇、生態系への影響など、事業活動から発生するすべての環境影響を、統合化分析法*3によって数値化したものです。「エコバランス」により把握された「統合環境影響」の評価をもとに、「2010年長期環境目標*4」や「環境行動計画*5」の設定を行っています。

*1 企業が発生させる環境負荷を定量的に測定・把握・報告する手段として、環境負荷のインプット/アウトプットデータの一覧表を作成すること、または一覧表そのもの。

*2 27ページを参照。

*3 スウェーデン環境研究所が、製品のLCAを算出するために開発したEPS (Environmental Priority Strategies for Product Design) という手法を、エコバランスの算出に応用しました。EPSは、環境負荷が人間の健康、生態系、非生物資源、生物多様性に与える被害量を、統一指標ELU (Environmental Load Unit) を使って金銭換算する手法です。CO₂=0.108ELU/kg, NO_x=2.13ELU/kg, SO_x=3.27ELU/kg, BOD=0.002ELU/kgなどと指標化されています。

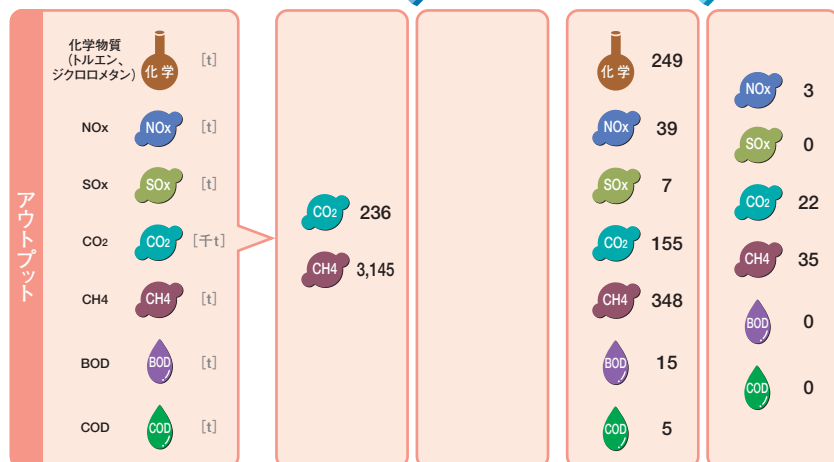
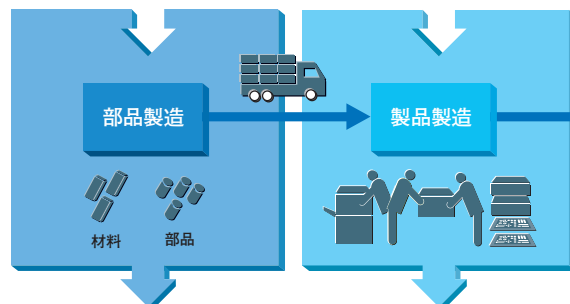
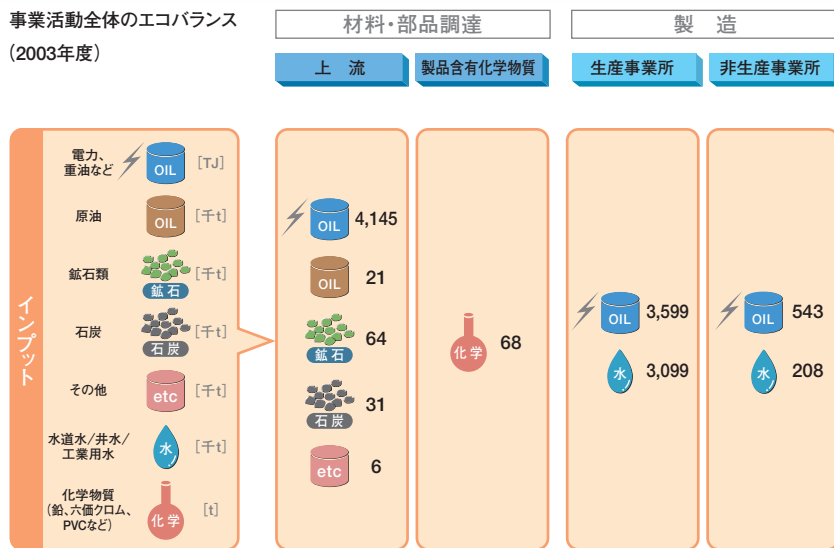
*4 13ページを参照。

*5 15ページを参照。

●2003年度のレビュー

画像事業におけるエコバランスにおいては、全体として統合環境影響の値は昨年度比で約5%削減できました。製品に含有する環境影響化学物質(鉛、六価クロム、PVCなど)の削減や製品輸送時の天然ガス車の活用が進んだことなどが主な理由です。しかし、資源利用や生産に伴う環境影響は増加傾向にあることから、現在、削減に向けた施策を進めています。

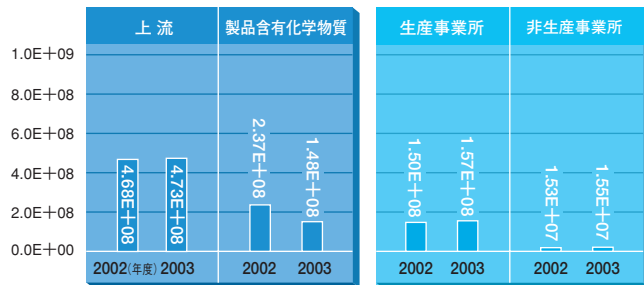
事業活動全体のエコバランス (2003年度)



事業活動の環境影響を統合化した数値

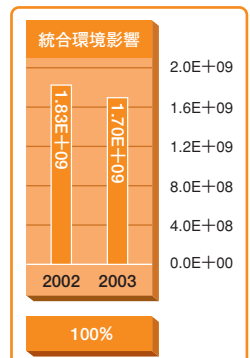
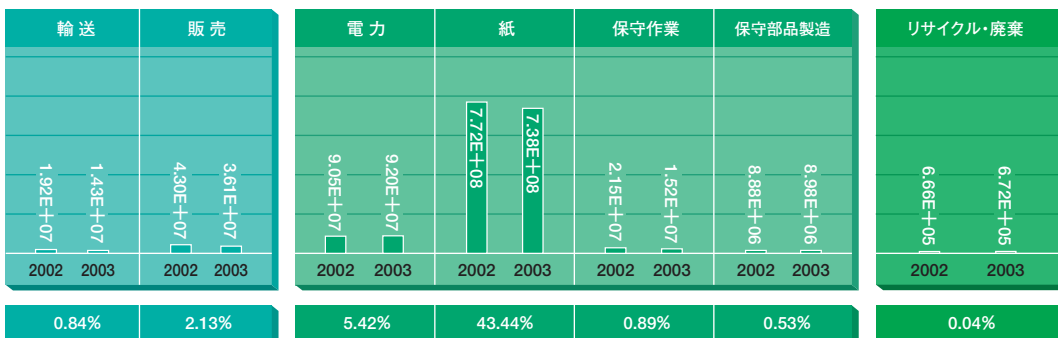
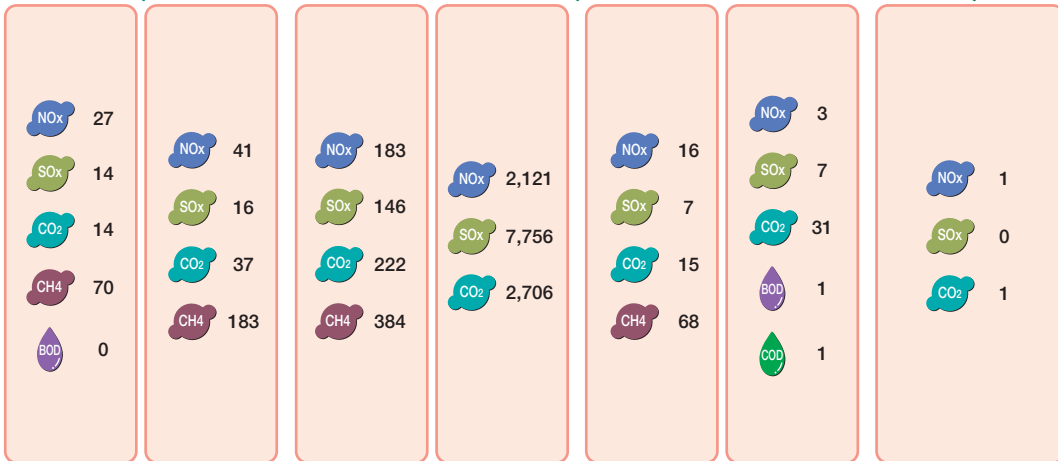
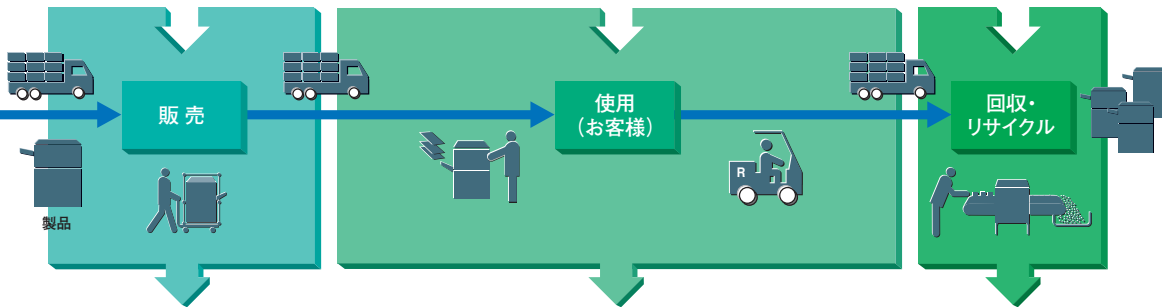
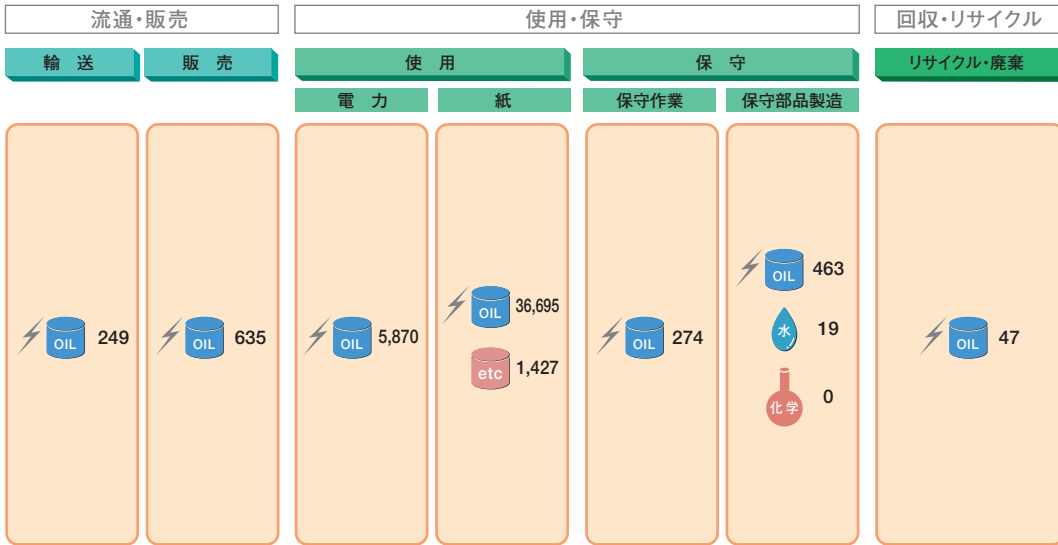
単位: ELU

* データの収集範囲は、主に画像製品事業領域です。



統合環境影響の割合 (2003年度)





「E+n」は「×10ⁿ」を意味します。例) 1.45E+08=1.45×10⁸